



もじりすぐ誕生

つくみイルカ島

出産を控えたバンドウイルカの「メイ」＝津久見市四浦のつくみイルカ島



【津久見】新型コロナウイルスの影響で休園中の津久見市四浦のつくみイルカ島は、会員制交流サイト（SNS）で動物たちの日常の姿を伝えている。間もなくイルカの赤ちゃんが誕生する予定。担当者は「明るいニュースを届けたい」と映像に思いを込める。

津久見市のつくみイルカ島が会員制交流サイト（SNS）で動物たちの日常の姿を伝えています。

SNSで「明るい知らせ届けたい」



ツイッターに載せる動画を撮影する川広成美さん

つくみイルカ島は31日まで休園中。施設内にはイルカやアザラシ、ペンギン、コツメカワフウ、オウムの6種類、21匹の動物がいる。4月11日から臨時休園となったため、これまで月4回程度だったツイッターの更新を2日に1回のペースに増やし、動画と写真で動物たちの様子を紹介。イルカの水浴びや寝る姿、アザラシのひなたぼっこなど、見るだけでほっこりする映像を掲載している。いずれも飼育員が間近で撮影した。閲覧数は休園前より増え、「イルカも水を飲むの？」といった質問や「早く会いたい」「元気で良かった」などのコメントも寄せられる。

バンドウイルカの「メイ」は昨年5月に妊娠の兆候が確認され、今月上旬に出産する見通し。「メイ」は2018年に死産を経験しているだけに、飼育員は小さな変化も見逃さないよう観察を続ける。

担当飼育員の川広成美さん(25)は「健康状態も良く、順調に育っている。メイが赤ちゃんと一緒に泳ぐ様子を皆さんに伝えたい」と話している。

(洪谷優子)

2020年5月5日付
大分合同新聞 13面

① つくみイルカ島がSNSで動物たちの姿を伝えているのはなぜでしょう？

② 発信されている動画や写真はどんな内容？見た人の反応は？

③ イルカ島で間もなく予定されている明るいニュースとは？

④ ほかに動物の様子を発信している観光施設がないか調べてみよう。